

産婦人科学

ナンバリング

M3-S1-D06

責任者・コーディネーター		産婦人科学講座 馬場 長 教授			
担当講座・学科（分野）		産婦人科学講座			
担当教員		馬場 長 教授、小山 理恵 特任教授、庄子 忠宏 准教授、利部 正裕 特任准教授、永沢 崇幸 特任講師、羽場 巖 助教、佐藤 翔 助教、岩動 ちず子 助教、佐々木 佳夏子 助教、尾上 洋樹 助教、高取 恵里子 助教、川村 花恵 助教、佐藤 千絵 助教(任期付)、村上 一行 助教(任期付)、黒川 絵里加 助教(任期付)、佐藤 貴紀 助教(任期付)、海道 善隆 助教(任期付)、畑山 伸弥 非常勤講師、近藤 英治 非常勤講師、山田 重人 非常勤講師、三浦 史晴 非常勤講師、小笠原 敏浩 非常勤講師			
対象学年	3	区分・時間数 (1 コマ2時間計算)	講義	35コマ	70.0時間
期間	通期		演習	0コマ	0.0時間
			実習	0コマ	0.0時間

・学習方針（講義概要等）

産科学は、妊娠・分娩・産褥・胎児および新生児の生理、疾患、病理を取り扱うものである。次世代を担う生命の創生に直接かかわる医学であることから、予防医学、社会医学的課題を重視する。

・教育成果（アウトカム）

産婦人科学の講義を通じて、将来医師として活躍する際に必要な女性医学の知識を習得することにより、それらの知識を説明できる。さらに、他の臨床各分野との関連を理解し、予防医学、社会医学への活用を説明できる。

(ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	正常な女性生殖器の構造・機能および内分泌との関連を説明できる。
2	ヒトの生殖の過程を説明できる。
3	正常な妊娠、分娩、産褥における形態学的、機能的、内分泌学的推移を説明できる。
4	胎児、新生児における形態学的、機能的、内分泌学的推移を説明できる。
5	母子保健・統計について説明できる。
6	不妊症・不育症の病態、診断、治療について説明できる。
7	女性生殖器の主な疾患について病態、診断、治療を説明できる。
8	思春期、更年期、老年期のヘルスケアと各年代に特徴的な疾患について説明できる。

・講義場所

講義：東1-C講義室

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	5/19(月)	3	産婦人科学講座	馬場 長 教授	産婦人科学総論ー4つの柱	1,2,3,7,8
講義	5/19(月)	4	産婦人科学講座	利部 正裕 特任准教授	外性器・骨盤内臓器解剖、性器脱	1,7
講義	5/26(月)	3	産婦人科学講座	佐藤 千絵 助教(任期付)	内分泌ーホルモン、多嚢胞性卵巣症候群、性分化疾患と形態異常	1,6,7,8
講義	5/26(月)	4	産婦人科学講座	岩動 ちず子 助教	女性ヘルスケアー月経の異常・思春期・アスリート	1,7,8

講義	6/2(月)	3	産婦人科学講座	馬場 長 教授	婦人科疾患一良性・筋腫、内膜症	1,7,8
講義	6/2(月)	4	産婦人科学講座	佐々木 佳夏子 助教	生殖補助医療一卵子と精子の発生・受精、妊娠の成立、胚の発育、PGT	1,2,6
講義	6/9(月)	3	産婦人科学講座	川村 花恵 助教	産科一正常妊娠の経過：胎児発育と母体の変化	2,3,4
講義	6/9(月)	4	産婦人科学講座	村上 一行 助教(任期付)	産科一妊娠初期の異常・流産、異所性妊娠、不育症	4,6
講義	6/16(月)	3	産婦人科学講座	岩動 ちず子 助教	産科一正常分娩の経過：回旋、陣痛、産褥	3,4
講義	6/16(月)	4	産婦人科学講座	尾上 洋樹 助教	生殖補助療法一治療	1,2,6
講義	6/23(月)	3	産婦人科学講座	小山 理恵 特任教授	産科一母子保健・統計-1	5
講義	9/29(月)	1	産婦人科学講座	利部 正裕 特任准教授	婦人科疾患一悪性・子宮頸癌/腔癌/外陰癌・疫学、診断と治療	7
講義	9/29(月)	2	産婦人科学講座	岩動 ちず子 助教	産科一異常分娩：回旋、陣痛、産褥	4
講義	10/6(月)	1	産婦人科学講座	庄子 忠宏 准教授	婦人科疾患一悪性・卵巣がん・診断、分類と治療	6,7
講義	10/6(月)	2	産婦人科学講座 産婦人科学講座	畑山 伸弥 非常勤講師 黒川 絵里加 助教(任期付)	産科一異常妊娠(悪阻・羊水異常・血液型不適合など)	4
講義	10/17(金)	1	産婦人科学講座	海道 善隆 助教(任期付)	婦人科疾患一性感染症・梅毒、クラミジア、ヘルペス、HIV	7,8
講義	10/17(金)	2	産婦人科学講座	黒川 絵里加 助教(任期付)	産科一NST、CTGの読み方、胎児機能不全	3,4
講義	10/20(月)	1	産婦人科学講座	川村 花恵 助教	産科一誘発分娩、産科麻酔、無痛分娩	3,4,6,7
講義	10/20(月)	2	産婦人科学講座 産婦人科学講座	近藤 英治 非常勤講師 馬場 長 教授	産科一救命救急	4
講義	10/24(金)	1	産婦人科学講座	馬場 長 教授	婦人科疾患一悪性・子宮体がん・疫学、診断、分類と治療	7
講義	10/27(月)	1	産婦人科学講座 産婦人科学講座	佐藤 貴紀 助教(任期付) 岩動 ちず子 助教	産科一早産(切迫早産・絨毛膜羊膜炎・頸管無力症・破水)、母子感染	4
講義	10/27(月)	2	産婦人科学講座	川村 花恵 助教	産科一合併症妊娠(耐糖能異常、内科合併症)	3
講義	10/31(金)	2	産婦人科学講座 産婦人科学講座	小笠原 敏浩 非常勤講師 小山 理恵 特任教授	産科一母子保健・統計-2	5
講義	11/10(月)	1	産婦人科学講座	羽場 巖 助教	産科一妊娠高血圧症候群	3
講義	11/10(月)	2	産婦人科学講座	佐藤 翔 助教	婦人科悪性腫瘍治療一化学療法、抗腫瘍免疫治療、放射線治療、治験倫理	7
講義	11/14(金)	1	産婦人科学講座	三浦 史晴 非常勤講師	女性ヘルスケア一婦人科腫瘍と臨床遺伝学	7,8
講義	11/14(金)	2	産婦人科学講座	永沢 崇幸 特任講師	代替医療一漢方医学、緩和医療	7,8
講義	12/1(月)	1	産婦人科学講座	羽場 巖 助教	産科一産科救急疾患/危機的出血のまとめ・グレードA	7,8
講義	12/1(月)	2	産婦人科学講座 産婦人科学講座	山田 重人 非常勤講師 馬場 長 教授	産科一超音波診断(胎児計測、胎児奇形)、NIPT、羊水検査、PGT検査	3,4

講義	12/8(月)	1	産婦人科学講座	高取 恵里子 助教	婦人科疾患－悪性・絨毛性腫瘍・肉腫の診断、取扱い	7
講義	12/8(月)	2	産婦人科学講座	小山 理恵 特任教授	女性ヘルスケア－更年期・骨代謝・ホルモン補充療法	8
講義	12/12(金)	1	産婦人科学講座	庄子 忠宏 准教授	婦人科－その他（まとめ・問題演習の解き方）	7,8
講義	12/12(金)	2	産婦人科学講座	羽場 巖 助教	産科－その他（まとめ・問題演習の解き方）	1,3,4,8
講義	12/15(月)	1	産婦人科学講座	馬場 長 教授	産婦人科総論－医療者が考えるべき女性の健康	2,7,8
講義	12/15(月)	2	産婦人科学講座	尾上 洋樹 助教	生殖補助療法－治療、まとめ・問題演習の解き方	2,6,7

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	病気がみえる 産科 Vol.10 第4版	医療情報科学研究所編	MEDIC MEDIA	2018
教科書	病気がみえる 婦人科・乳腺外科 Vol.9 第4版	医療情報科学研究所編	MEDIC MEDIA	2018
参考書	レビューブック 産婦人科 2022-2023	医療情報科学研究所編	MEDIC MEDIA	2021
参考書	QBオンライン CBT Vol.1～5	国試対策問題編集委員会	MEDIC MEDIA	2022
教科書	女性医学ガイドブック 思春期・性成熟期編	日本女性医学会	金原出版株式会社	2016
教科書	女性医学ガイドブック 更年期医療編	日本女性医学会	金原出版株式会社	2019
教科書	標準産科婦人科学 第6版	監修：後田琢成、編集：後田教夫、高井泰	医学書院	2025

・成績評価方法

【総括評価】 進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。 【形成的評価】 講義内レポート作成を実施して講義内容の理解度を確認すると共に、女性の健康増進について学生が自身の考えを醸成できるように促す。
--

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。本科目では、事前事後学修以外に各回2時間15分の自己学修を要す。講義資料はWebClassで配信する。 当該科目に関連する実務経験の有無 有 大学病院等における医療行為の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。
--

・教育資源

教科書、参考書、PC、インターネット環境、コンピューターソフトウェア、シミュレーター
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン	1	講義における症例提示
講義	ノートパソコン Lavie 一式	1	学生講義に使用のため
講義	ノートパソコン Corei5 13.3インチ	1	学生講義に使用のため
講義	Mac Book Pro	1	学生講義に使用のため